

岡谷シルクトレインプロジェクトワークショップへのお誘い

岡谷シルクトレインを作って 世界への玄関 横浜へ行く

岡谷から横浜までのシルクトレイン、
生糸を運びましたが、人々の夢も運びました
これで人々の生活が良くなる
日本が発展するという
期待も運びました



かつてアメリカには「シルクトレイン」と呼ばれる列車が存在しました。この列車は、横浜港からアメリカのシアトルなどに輸出された日本製のシルクを、アメリカ東部に運ぶ貨物列車。その時もっとも人気があったのが岡谷シルク、世界一の生産量でした。そして日本にもシルクトレインが作られ岡谷から横浜へ生糸が運ばれました。

今回私たちは、岡谷シルクを使い着たり乗ったりつながったりできるアート列車「岡谷シルクトレイン」を参加者の皆さんと制作し、アート列車と一緒に岡谷から横浜へ鉄道を使い、かつてシルクが運ばれた歴史をたどり、古く新しい何かと出会う感動を呼び起こしたいと思います。hmpArt



岡谷シルク Artist in Residence

私たちhmp Art (松本春崇、角田良江) は、アーティストインレジデンスに参加しています。滞在中、ワークショップや作品を制作していますのでお気軽にお立ち寄りください。(場所: カネイチビル1F 滞在日: 9/21-22、9/29、10/8-9、10/13-15、10/21-23、10/27-29) -岡谷市ブランド推進室

岡谷シルクトレインプロジェクト

ワークショップのお誘い

ワークショップ1

10.9月 13:00~

岡谷シルクトレイン作り……岡谷シルクトレインのイメージを参加者全員で相談し、身につけられる車両を作ります。用意されている蒲袋の箱に絵を描いたりして、一人ひとつ、自分の車両を仕上げます。

講師：松本春崇 (hmp Art)

場所：カネイチビル1F (長野県岡谷市中央町3-1-30)

参加費：500円

定員：10人 (要予約)

持ち物：雑巾

- *ワークショップ1だけのご参加でも申し込みます。
- *絵の具などで汚れてもよい洋服でご参加ください。
- *小学生低学年以下のお子さんは、保護者にご参加ください。

松本春崇 Harutaka Matsumoto

美術家。多摩美術大学大学院修了後、フランス政府給費を受け1987-89年パリのエコールデボザール留学。2003-04年文化庁芸術家在外研修員によりニューヨーク滞在。1986年より「四つ」をモチーフにした絵画や彫刻、写真などの4ism作品を発表する。平行して2010年から「家縛りプロジェクト」をスタートし、作品制作とプロジェクトの実施で現在に至る。国内外での個展、グループ展多数。

hmp Art 松本春崇と編集者だった角田良江とのアートプロジェクトユニット。2010年から活動開始。「ひも縄」に関連するアートプロジェクトをおこなう。

ワークショップ2

10.22日 8:30 岡谷駅集合

岡谷シルクトレインを着て、世界への玄関だった横浜へ……作った岡谷シルクトレインを身につけ、かつて岡谷シルクを運んだ中央線で八王子を経由して横浜へ行きます。映像や写真で記録を残します。

講師：松本春崇 角田良江 (hmp Art)

場所：岡谷駅で記念撮影をしてから、JR特急あずさに乗る八王子へ。横浜線乗り継いで桜木町へ。港を臨みながら横浜臨港線廃線跡の遊歩道を散策。旧横浜港駅プラットホームを見学し岡谷へ。

参加費：無料 (ただし交通費は自己負担となります)

申込み：要予約

- *ワークショップ2だけのご参加でも申し込みます。
- *小学校低学年以下のお子さんは、保護者にご参加ください。
- *道中の安全については、ご自身でご注意ください。

fax : 0266-22-3675

email : brand@city.okaya.lg.jp

件名に「ワークショップ参加希望」と入れてください
お問合せ先：0266-23-3489 (ブランド推進室)

申込み方法：メールまたはファックス

以下を明記の上、「岡谷市役所ブランド推進室」(岡谷蚕糸博物館内) お申し込みください。

お名前： _____

ご希望のワークショップ： 1 2 (ご希望番号に○を付けてください)

ご住所： _____ 電話番号： _____

およその年齢： _____

ファックスでお申し込みの場合は、上記にご記入いただきファックスしてください。